

日本医療機能評価機構認定



健・康・通・信

さくら病院の理念

愛の心と確かな医療技術を以って社会に奉仕する。

Vol. 68



院長
江頭 啓介

昨年2月3日からクルーズ船ダイヤモンドプリンセス号に始まった新型コロナ(COVID-19)感染症蔓延は、幕末の黒船騒動のように国民を不安に落とし入れました。感染防止対策として3密回避と外出自粛等の新しい生活様式が提唱され、さらに緊急事態宣言が出されるなどで我々の暮らしが一変しました。世界から見ると非常にうまくいっていると評価されている我が国の感染対応ですが、国内では犯人探しともいえるような発言を含め、実に様々な意見や評価があり、これが多くの国民を当惑させました。しかし、試行錯誤しながらでしたが、国民・行政・専門家が良く協力して感染に取り組んできた実績は、相当に評価されてよいのではないのでしょうか。日本人はもっと自信をもって良いと思います。医療提供体制の面では、大規模災害ともいえる今回のコロナ感染症で、急性期病床機能の大切さと共に、日常の医療を確保することが不可欠であることが再確認されました。そして病院同士や高齢者施設との連携の大切さも明らかにされました。地域に密着した医療を目指すさくら病院も、有熱者外来を設置・コロナ疑い患者さんの受け入れ・そして治療後の回復期患者さんの継続治療で協力をしています。出口の無いトンネルはありません。ワクチン接種も始まり、明るい光が見えてきました。感染に用心しながら、皆様と力を合わせ、牛のように一步一步確実に前に進んで行きたいと祈念しています。

感染広報だより

新型コロナウイルス感染症 今後の対策について ～継続した感染予防を考える～



●基本的な感染対策を続けましょう！

基本的な感染予防や健康管理を心掛けてください

3つの密を避ける
密閉空間にしない
(換気を十分に)
密着しないよう人と人の
距離をとる
密接した会話や発声を避ける

石けんによる手洗いや
アルコール消毒



マスク着用
(咳エチケットを心掛けましょう)



●今後も日常生活で注意をしましょう！

ご家族に新型コロナウイルス感染が疑われる場合 家庭内でご注意いただきたいこと ～8つのポイント～

(一般社団法人日本環境感染学会とりまとめを一部改変) 令和2年 3月 1日版

部屋を分けましょう

個室にしましょう。食事や寝るときも別室としてください。
・子どもがいる方、部屋数が少ない場合など、部屋を分けられない場合には、少なくとも2m以上の距離を保ったり、仕切りやカーテンなどを設置することをお勧めします。
・寝るときは頭の位置を互い違いになるようにしましょう。
●ご本人は極力部屋から出ないようにしましょう。トイレ、バスルームなど共有スペースの利用は最小限にしましょう。

感染者のお世話はできるだけ限られた方で

心臓、肺、腎臓に持病のある方、糖尿病の方、免疫の低下した方、妊婦の方などが感染者のお世話をするのは避けてください。

マスクをつけましょう

使用したマスクは他の部屋に持ち出さないでください。
マスクの表面には触れないようにしてください。マスクを外す際には、ゴムやひもをつまんで外しましょう。
●マスクを外した後は必ず石鹸で手を洗いましょう。(アルコール手指消毒剤でも可)
※マスクが汚れたときは、すぐに新しい清潔な乾燥マスクと交換。
※マスクがないときなどに咳やくしゃみをする際は、ティッシュ等で口と鼻を覆う。

こまめに手を洗いましょう

こまめに石鹸で手を洗いましょう、アルコール消毒をしましょう。洗っていない手で目や鼻、口などを触らないようにしてください。

換気をしましょう

定期的に換気してください。共有スペースや他の部屋も窓を開け放しにするなど換気しましょう。

手で触れる共用部分を消毒しましょう

共用部分(ドアの取っ手、ノブ、ベッド柵など)は、薄めた市販の家庭用塩素系漂白剤で拭いた後、水拭きしましょう。
・物に付着したウイルスはしばらく生存します。
・家庭用塩素系漂白剤は、主成分が次亜塩素酸ナトリウムであることを確認し、使用量の目安に従って薄めて使ってください(目安となる濃度は0.05%です(製品の濃度が6%の場合、水3Lに液を25mlです。))。
●トイレや洗面所は、通常の家庭用洗剤ですすぎ、家庭用消毒剤でこまめに消毒しましょう。
・タオル、衣類、食器、箸・スプーンなどは、通常の洗濯や洗浄でかまいません。
・感染者の使用したものを分けて洗う必要はありません。
●洗浄前のものを共用しないようにしてください。
・特にタオルは、トイレ、洗面所、キッチンなどでは共用しないように注意しましょう。

汚れたリネン、衣服を洗濯しましょう

体液で汚れた衣服、リネンを取り扱う際は、手袋とマスクをつけ、一般的な家庭用洗剤で洗濯し完全に乾かしてください。
・糞便からウイルスが検出されることがあります。

ゴミは密閉して捨てましょう

鼻をかんだティッシュはすぐにビニール袋に入れ、室外に出すときは密閉して捨ててください。その後は直ちに石鹸で手を洗いましょう。

ご本人は外出を避けてください。
ご家族、同居されている方も熱を測るなど、健康観察をし、不要不急の外出は避け、特に咳や発熱などの症状があるときには、職場などに行かないでください。

リスクマネジメント委員会

さくら病院では患者様の転倒事例が毎年約150件発生しています。少しでも転倒・転落発生件数が減少するよう予防対策に重点を置き活動を行ってきましたが、発生件数は横ばいが続き看護師のみでの対策に限界を感じていました。そこで、リスクマネジメント委員会では「多職種の視点から転倒転落予防対策をしてはどうだろうか」と考え多職種(医師・看護師・薬剤師・リハビリ)での対策チームを結成し、令和2年夏より転倒転落ラウンドを開始しました。活動内容は転倒転落が発生すると、チームで患者様の情報を収集し現場検証、対策の確認を行います。医療安全管理室の医師は患者様を診察、薬剤師は服薬中の薬剤について情報を提供し、必要時に主治医と連携を図り服薬調整を行います。リハビリスタッフは移動方法・他スタッフへの介助方法の指導、室内の環境調整を行い、看護師は病棟内でラウンド結果の情報共有を行いました。転倒転落

発生の原因を明確にし適切な予防策を患者様に合わせてタイムリーに検討することが出来るようになり、再発防止・重症化予防に繋がっています。転倒転落をゼロにすることは難しいですが、今後も多職種による予防対策を継続していこうと思います。



通所リハビリテーションは、理学療法士・看護師・介護士・介護福祉士がチームとなり、利用者様の健康管理や生活動作の向上を目指したリハビリを行っています。リハビリだけではなく利用者様に楽しんで頂く年間行事も企画しています。しかし昨年はコロナ禍で全ての行事を中止しました。日頃より感染対策に協力して頂いている利用者様に少しでも楽しんで頂きたいというスタッフの思いからクリスマス会を開催しました。スタッフからはハンドベルの演奏をクリスマスプレゼントとして贈りました。ご自分の携帯電話やスマートフォンで写真や動画を撮られている方もいらっしゃいました。また、特別おやつとしてケーキとコーヒーをお出しし「久しぶりにケーキを食べておいしかった。」「練習大変やったろ？ありがとう。」と大変喜んでいただきました。

現在入院中や通院されている方で「リハビリを頑張りたい！でも1日は長い。」という方のために2月より半日の利用も可能となりました。ぜひ検討して頂けたらと思います。これからも楽しくリハビリを続けてもらうことが出来るようにスタッフ一同頑張っています。

医療サービスの基本方針

医療法人社団 江頭会 さくら病院は、「人を大切にすること」を基本理念として、良質の医療・介護サービスの提供と働きやすい職場づくりを行ってまいります。

そのために職員の人間性、知識、技術を向上させます。また、職員それぞれの能力を基盤とした組織づくりを継続的に行います。そのために以下の4点を推進いたします。

1. 患者、患者家族、地域住民の方々などの期待に応え、またその期待を越えるような医療・介護サービスを提供し、これを常に改善していきます。
2. 他の医療機関・介護施設との連携を行い、さくら病院の持つ医療・介護機能を地域の為に役立て、切れ目のない医療・介護サービスを実現します。
3. 地域包括ケアシステムの中核となる、地域に根ざした内科主体の総合診療能力を持った病院として、地域住民のための疾病治療・疾病予防・健康増進活動を推進します。
4. 法令・規制要求事項などを的確に把握し、遵守すると共に、医療安全と感染対策を推進し医療の質の向上に努めます。

2018年3月28日 医療法人社団江頭会 さくら病院 理事長 江頭 啓介

病院の診療指針

- 1、一期一会を大切に
- 2、友愛ともにいたわりともに励ます
- 3、医療は信頼から
- 4、多忙な中にも対話を忘れずに
- 5、医療サービスは深い思いやりをもって
- 6、慢心は敵、安全医療に徹する
- 7、快適な職場づくりはひとりひとりの心掛けから
- 8、救急協力は無償の愛をもって
- 9、向上心をもって医療に取り組む

看護サービスの基本理念

- 1、人とのふれあいを大切に、安全で思いやりのある看護・介護を行う
- 2、医師及び多職種と協働し、チーム医療を推進する
- 3、専門職としての自覚を持ち、知識・技術・人間性の向上に努め、看護・介護の質を高める
- 4、保健・医療・福祉との連携を図り、地域包括ケアを推進する
- 5、社会の変化に対応し、柔軟な発想で継続的に組織を変革する

さくら病院の患者権利7カ条

患者様は、「患者中心の医療」の理念のもとに、人間としての尊厳を有しながら医療を受ける権利を持っています。また、医療は、患者様と医療提供者とがお互いの信頼関係に基づき、共同してつくり上げていくものであり、患者様に主体的に参加していただくことが必要です。

地域の皆様の生命と健康を守ることを使命とするさくら病院は、このような考え方に基づき、ここに「患者権利7カ条」を制定します。

さくら病院は、この「患者権利7カ条」を守り、患者様の医療に対する主体的な参加を支援していきます。

1、だれでも、どのような病気にかかった場合でも、良質な医療を公平に受ける権利があります。

さくら病院は患者様に対して常に公平であるとともに、適切で安全な医療の提供や、医療の質の向上を目指して知識・技術の研鑽に努めていきます。

2、だれもが一人の人間として、その人格、価値観などを尊重され、医療提供者との相互の協力関係のもとで医療を受ける権利があります。

さくら病院の職員は、患者様の個々の人格や価値観などを尊重し、両者がお互いに協力し合いながら医療をつくり上げていくよう努めます。

3、病気、検査、治療、見直しなどについて、理解しやすい言葉や方法で、納得できるまで十分な説明と情報を受け、治療方法を自分の意思で選ぶ権利があります。

さくら病院の職員は、患者様とのコミュニケーションを大切にし、患者様の理解を助け、納得が得られるように努めていきます。また、治療方法の選択については患者様の意思を尊重いたします。なお、別の

医師の意見（セカンドオピニオン）をお聞きになりたいという御希望も尊重いたします。

4、自分の診療記録の開示を求める権利があります。

患者様とさくら病院は診療情報を共有しつつ、共同作業者として治療を進めてまいります。

5、診療の過程で得られた個人情報、秘密が守られ、病院内での私的な生活を可能な限り他人にさらされず、乱されない権利があります。

さくら病院は、個人情報、秘密の保持や私生活をみだりにさらされないようにという患者様のプライバシーの権利について、厳正に取り扱ってまいります。

6、納得できる医療を受けるために、医療に関する説明を受けても良く理解できなかったことについて、十分理解できるまで質問する権利があり、同時に治療の指示を守る義務があります。

患者様が、治療等に関する十分な説明や情報提供により納得のいく医療を受けていただくために、そして治療法等を自分の意思で選択していただくためにも、分からないことがあれば何度でもさくら病院職員に質問して下さるようお願いいたします。

7、すべての患者様が適切な医療を受けられるようにするため、患者様には、他の患者様の治療や病院職員による医療提供に支障を与えないように配慮する義務があります。

病院では、職員が数多くの患者様に様々な医療を提供しています。そのため、患者様は通常の社会生活にはない制約を受けざるを得ないこともあります。このことを十分御理解していただき、適切な医療の提供に御協力くださるようお願いいたします。

第21回 業務改善コンテスト

2020年11月21日に第21回業務改善コンテストを開催しました。

例年は8月に開催しておりましたが新型コロナウイルスの影響もあり、11月の開催となりました。院内でしっかり感染対策を練り、会場となったホテルのご協力もあり、無事に開催出来ましたことを感謝いたします。

各チームのテーマは、『増加する時間外画像検査への対応』、『患者・家族の個別のニーズに対応したグリーンケアへ』、『リハ体制の新たなシステム構築に向けて』、『転倒・転落と対応についての取り組み』でした。

今回発表したことを踏まえ、これからの日々の業務により一層取り組んで参りたいと思います。



令和2年度入職者一覧

令和2年 4月

妹尾 麻里
横田 英佳
永友 瀬菜
吉田 芽
松林 葵
岡野 亜耶
古川 知里
小湊 栄光
小林 幸
野中 光代
伊藤 瑠偉
末永 香織

5月

岩切 翔太郎
外山 舞
伊藤 奈々
中村 友紀
岩井 直美

6月

茂木 真知子
田中 夏生
黒木 直美

7月

相良 駿斗
高尾 里奈
伊達 由美
西角 敦子
佐伯 敦子
中村 恵美

8月

田中 美帆
佐々木 未佳
大久保 恵
櫻井 典子

9月

山岸 祥子

10月

下田 麻子
山本 恵
城戸 望
後藤 潤子

11月

野田 喜夏
久田 麻衣
陳 秀芬

12月

後藤 香菜枝

令和3年 1月

石橋 美紀

2月

白石 律子
兼久 彩子
渡邊 由香
西見 麻里

令和2年度 さくら病院活動報告

R2年 4月	新入職オリエンテーション(前期)
7月	消防避難訓練(前期)
9月	令和2年度 第1回 医療安全管理研修会 第22回 さくらフォーラム(書面開催)
10月	新入職オリエンテーション(後期)
11月	令和2年度 第2回 医療安全管理研修会 第21回 さくらグループ業務改善コンテスト
12月	消防避難訓練(後期)
R3年 2月	医療ガス・個人情報研修会
3月	令和2年度 第3回 医療安全管理研修会

部署
紹介

栄養科

こんにちは、栄養科です♪

栄養科では管理栄養士3名で業務を行っています。

主な業務内容としては、入院患者様の状態に合わせた食事の提供や栄養評価、入院・外来患者様への個人栄養指導です。

病院食は入院中の患者様の栄養状態の維持や管理など治療の一部である事はもちろん、退院後の食習慣の見直しの参考にさせていただけるよう、栄養バランスや味付けなどに配慮しています。入院中の楽しみに繋がればと季節感を取り入れた行事食も月1回提供しています。

患者様の中には、嚥下機能低下や治療の影響などにより食欲が低下している方など様々な症状を抱えていらっしゃいます。医師・看護師・言語聴覚士等と多職種で関わり、病気の治療・回復に向け食事内容の検討を行い、患者様の栄養状態の維持が行える事を目標に日々取り組んでいます。

個人栄養指導では、入院・外来患者様を対象に行っています。管理栄養士は「食べちゃダメ」「カロリーの話を一方向的にされるから嫌」などのイメージ



を持たれている方が多数いらっしゃいます。個人の食生活・嗜好や食事への思いを伺いながら長期的に実践可能な方法を提案させていただいていますので、指導を受けられる際には、ご不明な点がありましたら何度でも聞いてください。

新型コロナウイルス感染症に対し、各ご家庭で様々な対策が行われていると思います。その中でもバランスの良い食事や十分な睡眠をとる事は健康を維持する上でとても大切なことです。患者様・地域の方々へ、栄養のプロとしてこれからもサポートが出来るよう全力を尽くしていきたいと思っています。



2内科病棟 院内レクリエーション

2内科病棟は地域包括ケア病棟です。急性期病棟での治療を経て症状が安定した患者様へ継続治療やリハビリを行い、自宅や介護施設への退院支援を行います。又、依頼があれば在宅からの直接入院やレスパイト入院*も受け入れています。

新型コロナウイルスが流行して一年が経ち、ご家族との面会も出来ない、外出も出来ない日々が続くことで、入院中の患者様もストレスを感じています。そこで、新型コロナウイルスに打ち勝つように、2内科病棟職員が一丸となり「気持ちで負けない」取り組みを行っています。そのひとつが【院内レクリエーション】です。密集・密接・密閉への対策を十分に行い、患者様に「切り係」と「貼り係」をして頂き、貼り絵を楽しみました。コロナ鬼を退治したく、「鬼は外!!」早く新型コロナウイルスが収束するように願いを込めて作りました。マスクをしても患者様の笑顔は伝わりますが、やっぱりマスク無しのおきの笑顔がみたいです!!その日が一日でも早く来ますように…



*レスパイト入院とは、介護者の負担軽減のための一時的な入院のことです。

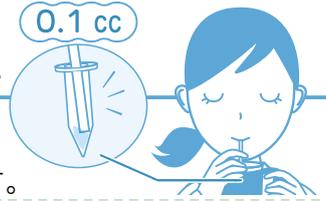


がんリスク検査

サリバチェッカー®

臨床検査科 小野 和子

0.1 cc



日本人の3大死因をご存知ですか？

第1位「悪性新生物(腫瘍)」、第2位「心疾患(高血圧性を除く)」、第3位「老衰」です。

「悪性新生物(腫瘍)」は、過去5年連続で第1位を占め日本人はこの病名で大半が亡くなっていると言っても過言ではないと思いませんか？その為、現在は色々ながんリスク検査が研究開発されています。

がんリスク検査とは、生涯を通してどうなのかを検査する遺伝子検査とは違って検査した時点のがんリスクを検査するものです。今回、ご紹介します【サリバチェッカー®】という検査もがんリスク検査のひとつです。

特にこの【サリバチェッカー®】は、がんリスク発症ゼロの段階で早期に発見できます。

又、この検査の大きなアピールポイントは2つあります。

1つ目は、血液で検査を行うと採血という痛みがありますが、この検査は《唾液》で検査を行うため採血という苦痛が除外されます。《唾液》に含まれる代謝物質の中でがんの特異的な物を検査します。

2つ目は、調べられるがんの種類に《膵臓》が含まれることです。特にこの点は大きなアピールポイントです。

この検査で判断できるがんの種類は、次の表に挙げています。

がん家系又はがん家系かなあとされている方には特におすすしめします。



1回の検査で わかるがんの種類	男性	膵臓がん	肺がん	大腸がん	口腔がん
	女性	膵臓がん	肺がん	大腸がん	口腔がん

SalivaChecker®またはサリバチェッカー®は、株式会社サリバテックの商標です。

詳しくは、当院受付でお尋ねください。

しおん

2内科 三島さん

きゅるんとした顔とながーい身体と短い手足がかわいいです。

かんだ

リハビリテーション科
伊藤さん

まる
2歳

豆しばだけど少しぽっちゃり
でダイエット頑張っています。
ぬいぐるみ大好き。

3内科 吉本さん



大福
5歳

犬の呼吸拾壺の型
癒しのほほえみ

リハビリテーション科 坂本さん
(リハビリ室のうなぎ)



タシ

好物はミミズです。6年くらいリハ
ビリ室にいます。
ぜひ会いに来てください。

3内科
伊藤主任

こてつ
5歳

体重が1.9kgと小さいけどりっ
ぱな成犬です。気が強く自分が
小さいと思っていない為に散
歩のときにすれ違う大きな犬
にも吠えるのでヒヤヒヤです。

さくら病院
ペット自慢

こんにちは!

地域医療連携室です。 どうぞお気軽にご相談ください。

地域医療連携室(医療介護相談室)では、患者様・ご家族からの様々なご相談を承っています。

例えば、当院への入院のご相談・退院後の生活に対する不安・介護サービス等社会資源のご紹介・経済的な問題についてなど、一緒に考えさせていただいています。

また、患者様へ適切な医療が提供できるよう、地域の診療所や病院・施設・在宅サービス事業所等との連携に努めています。

どうぞお気軽にお声かけください。

地域医療連携室

TEL 092-864-1245

FAX 092-864-1213

受付 平日:9:00~17:00
土曜日:9:00~12:30

担当者 室長 吉瀬
副室長 松山
看護師 井上
医療ソーシャルワーカー 足立・山本
事務 谷山



外来診察表

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	
午前	第1診察室	栗原 可南子 神経内科	小柳 尚子 循環器内科	東 大樹 内科/糖尿病内科	加藤 禎史/大木 公介 総合内科	江頭 省吾 内科/循環器内科	河野 徳子 内科/呼吸器内科
	第2診察室	小田 晋也 内科/循環器内科	江頭 啓介 総合内科	江頭 芳樹 総合内科	岩崎 敬雄 リハビリテーション科	江頭 啓介 総合内科	江頭 啓介 総合内科
	第3診察室	江頭 省吾 内科/循環器内科	王寺 恒治 内科/消化器内科	秋満 俊介 内科/循環器内科	江頭 啓介 総合内科	王寺 恒治 内科/消化器内科	東 大樹/大城 彩香 糖尿病内科
	第5診察室	吉田 芽 健診/ドック	村上 修二 内科/心療内科	天野 角哉 内科/消化器内科	中野 修治 腫瘍血液内科	田邊 桃香 内科	
	第6診察室	楠原 浩之 内科/消化器内科	吉田 芽 健診/ドック	吉田 芽 健診/ドック	池内 伸光 呼吸器内科	吉田 芽 健診/ドック	吉田 芽 健診/ドック
	午後	第1診察室	天野 角哉 内科/消化器内科	江頭 芳樹 総合内科	王寺 恒治 内科/消化器内科	村上 祐一 内科/消化器内科	崎原 永志 総合内科
第2診察室		栗原 可南子 神経内科	福田 高士 糖尿病内科	米良 英和 神経内科	江頭 啓介 総合内科	小田 晋也 内科/循環器内科	
第3診察室		秋満 俊介 内科/循環器内科	河野 博之 内科/循環器内科	吉田 芽 内科/循環器内科	江頭 省吾 内科/循環器内科	秋満 俊介 内科/循環器内科	
第5診察室		田邊 桃香 内科	小柳 尚子 循環器内科	村上 修二 内科/心療内科	中野 修治 健診/ドック	中園 智美 心療内科	
第6診察室		河野 徳子 内科/呼吸器内科	吉田 芽 健診/ドック	磯部 泰司 腫瘍血液内科	楠原 浩之 内科/緩和ケア内科	堀端 智子 内科/消化器内科	

病院までの交通アクセス

- 地下鉄七隈線/福大前下車1番出口より徒歩10分
- 都市高速/堤ランプより車で3分
- 車/天神より約30分(本館地下駐車場、本館東側に第2駐車場があります。)
- バス/西鉄バス(さくら病院前バス停下車)の場合
 - 天神方面より: 協和ビル前のりば片江(当)行.....13番
 - 西鉄大橋駅より:外環700番
- 西鉄バス(西片江一丁目バス停下車)の場合
 - 天神方面より: 警固神社・三越のりば片江(当)行.....114番
 - 協和ビル前のりば片江(当)行.....12・140番
 - 西新・飯倉方面(脇山口)より:95番
 - 博多駅方面より: 博多駅前のりば片江(当)行.....16番
 - 博多バスターミナル片江(当)行.....12・114番
 - 松原・片江方面より:6・12・16・95・114・140番



医療法人社団 江頭会 さくら病院

医療法人社団 江頭会 さくら病院

サービス付き高齢者向け住宅

住宅型有料老人ホーム

在宅医療介護センターさくら 訪問看護ステーションさくらんぼ ホスピコート長尾 アドバンスケア長尾

社会福祉法人 桜花会 ライフケア大手門

社会福祉法人 桜花会 ライフケアしかた

社会福祉法人 桜花会 ライフケア柏原

〒814-0143 福岡市城南區南片江6丁目2-32 TEL092-864-1212 FAX092-865-4570
E-mail:info@sakurahp.or.jp ホームページ:http://www.sakurahp.or.jp/

直通TEL 1内科 092-872-5611
事務所 092-801-7386 2内科 092-872-5612
ユニット 092-872-5615 3内科 092-872-5613